

令和6年3月三田市議会定例会(第375回)一般質問発言通告一覧

(第2日・3月4日 代表質問)

19番 福田 秀章 <一問一答>

- 1 田村市長就任後の市政の評価について
 - (1) 令和5年8月市長就任後の市政運営の評価について。
 - (2) 令和5年12月定例会の間責決議をどのように受け止め、どのように対応しようとしているのかについて。
 - (3) 議会との対話と市民に寄り添った市政運営について。
- 2 令和6年度の田村市政のまちづくりの方針について
 - (1) 市長の政治姿勢と今後のまちづくりの方向性について。
 - (2) 市長公約の実現に向けた考え方について。
- 3 三田市民病院の再編統合に関連した市としての諸課題について
 - (1) 新市民病院開設に向けた今後のスケジュールと課題等について。
 - (2) 交通アクセスと市内公共交通について。
 - (3) 現市民病院の跡地活用について。
 - (4) 休日応急診療センターの充実と近隣市町との連携について。
- 4 小中学校の教育環境等について
 - (1) 小中学校再編の現状と今後のスケジュールについて。
 - (2) ひきこもりや不登校対策について。
 - (3) 外国籍児童、生徒の現状と支援状況について。
- 5 持続可能な農業に向けた取組について
 - (1) 第5次三田市農業基本計画の施策の進捗について。
 - (2) 地域計画の策定の状況について。
 - (3) 学校給食のあり方に関する答申後の取組について。
- 6 三田市の人権施策の推進について
 - (1) 市長の人権についての思い、考えについて。
 - (2) 人権共生条例に基づく個別条例の制定について。
 - (3) 三田市人権施策基本方針の改定について。
 - (4) 男女共同参画の推進について。
- 7 消費者教育について
 - (1) 消費者教育推進計画の策定について。
 - (2) 消費者トラブルの対策について。

22番 厚地 弘行 <一問一答>

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 病院統合問題など市民、支援者への説明がされていない。
 - (2) 市長選挙後の慰労会はいつされたか、内容は、選挙管理委員会の見解はどうか。

- (3) 元明石市長の泉氏との関係はどうなっているか、適切なアドバイスはあるか。
 - (4) 市長の無償化政策の理念は何か。
- 2 予算の財政見通しについて
 - (1) 財政調整基金の取り崩しが大き過ぎる。今後の見通しはどうか。
 - (2) 基金取り崩しを避けるための事業の廃止、縮小見直しは検討されたか。
 - (3) 体育館の空調設備は災害時の避難所対策なら国の補助金の適用になるはずだがどうか。
 - 3 ふるさと納税の強化について
 - (1) 返礼品の価格設定は寄付額の2割5分は最適か。
 - (2) ふるさと納税に対する市の考え方は、寄付が増えるための取り組みはあるか。
 - (3) 魅力ある品ぞろえが必要と考える。
 - 4 学校給食の質の低下について
 - (1) 副菜が2品から1品が多くなり、安い食材が多く使われるなど質が低下している。価格維持のために食の品質を低下させることは問題があると考え。給食の質の向上を求める。
 - 5 総合福祉保健センター多目的ホールステージの段差解消
 - (1) 総合福祉保健センター多目的ホールのステージに上がる時に、高齢者や障害のある方々が階段を苦労して上がっている。車いすリフトはあまり使われていないように見えるが、そもそも段差のないステージにするべきではないか。
 - 6 三田国際マスターズマラソンの抜本的見直し
 - (1) 三田マラソンの課題として、会場からスタート地点がわかりにくい。雨天時には着替えのホールの客席が汚れないか。参加者の高齢化による厳しい門限時間、高低差の激しいコースが好まれていない。
 - (2) 市内イベントとミックスさせるなど魅力ある大会にするために抜本的に見直しが必要と考える。
 - 7 災害被災地としてのボランティアの受け入れ体制
 - (1) 能登半島地震でボランティアの受け入れが遅くなり、復旧も遅れている。もし三田市が被災地となった場合に、有志のボランティアを受け入れる体制はすぐにできるか。
 - 8 職員の評価と給料の連動、職員の文化活動支援
 - (1) 職員の昇給の人事評価を給料に連動させることについて令和6年度より実施することになっているが、どのような内容か。
 - (2) 職員の自主的な文化活動を支援することは、職員相互の交流や市民とのふれあい、教養を高め、活力の醸成につながる。退職後の豊かな人生を送る糧にもなると思うがどうか。

20番 松岡 信生 <一問一答>

- 1 市長の政治姿勢と今後の市政運営について
 - (1) 信任を問う行動に対する為政者の受止めと倫理観について。
 - (2) 公約に対する政治責任について。
 - (3) 中期の財政見通しと第5次総合計画への影響等について。
 - (4) 組織の在り方と方向性及び人材確保について。
- 2 2040を見据えた自治体としての戦略について
 - (1) 少子高齢化・人口減少への対応について。

- (2) 圏域を超えた有機的連携による暮らしの保障について。
 - (3) 県との柔軟な関係性構築及び強化について。
 - (4) 民間の意欲・能力の積極的活用について。
- 3 こども基本法及び大綱を踏まえた取組について
- (1) 子ども・若者参加と子育て支援の考えについて。
 - (2) 主体者の意見反映に「こども若者会議」等の創設について。
- 4 学校再編等を含む諸課題について
- (1) 少人数校による部活動の課題について。
 - (2) 「学びあい、高め合える」教育環境を目指す取組について。
- 5 兵庫県による市町関連事業の取組について
- (1) 補助事業に対する受け止めと展開について。
 - (2) 夏休み特化の放課後児童クラブ及び帯状疱疹ワクチン接種等の支援について。
 - (3) 有機農業拡大を含む環境創造型農業への取組について。
- 6 孤独・孤立問題、社会との繋がり保つ手立てについて
- (1) 社会の教訓を基にした支援策の再考及び今後の対策について。
 - (2) つながりサポーター養成及び「頼り合う文化」の醸成について。
- 7 HPVワクチン接種の取組について
- (1) キャッチアップ接種対象者の接種率及び罹患者数等の推計について。
 - (2) 未接種者への積極的勧奨に向けた取組について。